



清 風

令和4年4月6日
学校だより4月号
羽村市立羽村第二中学校
校 長 清水 大史

信頼し合える学校

校 長 清水 大史

様々に彩る桜や1000本のチューリップに迎えられ、令和4年度が始まりました。2年生188名、3年生148名で、本日の始業式を行いました。明日の入学式で新入生を迎え、全校生徒が揃って学校生活をスタートします。新たな出会いを楽しみ、全教職員で力を合わせ、保護者や地域の皆様とともに、生徒たちを大切に育てていくことができれば幸いです。

今年度より、校長に着任しました「清水 大史(しみず ふとし)」と申します。よろしくお願ひいたします。私は昭島市で生まれ育ち、都立高等学校から体育大学を経て、保健体育科の教師となりました。初任校の都立養護学校では、一人一人の子どもたちの良さを見つけ、伸ばしていく大切さを学びました。その後、市立中学校へ異動し、特に生活指導や道徳に関して経験を積み重ね、心の教育の重要性を実感してきました。部活動では小学校でサッカーと出会い、中・高・大学・社会人でサッカー漬けの人生を歩んできました。教師になってからは、サッカー部顧問、サッカー協会コーチ、東京都中体連サッカー選抜コーチ・監督・運営として、選手やコーチの育成に携わってきました。サッカーから学んだことは私の礎となり、仲間との絆は私を支えています。

さて、今年度、本校は開校50周年の節目を迎えます。このような記念すべき年に、羽村第二中学校に着任できましたことを幸せに感じています。50年に渡り、羽村第二中学校に関わってこられた方々の思いを大切に受け継ぎ、さらに発展させていけるように力を尽くします。今年度の学校経営の柱を『信頼し合える学校』とし、教育活動全体を通じて、信頼関係を大切にしながら、以下のような学校運営に取り組んでいきます。

まず、何と言っても生徒と教師の信頼関係の構築です。生徒の話を真剣に聴き、気持ちを大切にしながら、授業・学級活動・行事・部活動等において、生徒の良いところを伸ばす指導を推進していきます。また、困っている生徒への支援には、特に気を配っていきたいと考えています。次に、生徒同士の信頼関係です。自分を大切にするとともに、相手のことも大切に思われる「優秀な心」(優しさに秀でた心)を育てていきたいと思っています。また、友だちの良さや多様性を認める心も養っていきたいと考えています。最後に、学校と家庭・地域の信頼関係です。保護者の皆様への丁寧な対応を通して、協力体制をさらに深め、同じ方向を向いて、お子さんを成長させていきたいと思っています。また、地域とともに生徒の郷土愛や市民性を育み、羽村市を愛し、地域に貢献していける人材を育てていきたいと考えています。

中学校の3年間は、思春期を迎え様々な悩みに心揺れ動き、失敗を乗り越えながら、自分をつくっていくとする時期です。このような生徒たちを支えるために、教師の良さも活かして伸ばし『生徒も教師も輝ける学校』を実現してきます。どうぞ、本校の教育活動をご理解の上、ご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。